

登子連

発行所

登別市子ども会
育成連絡協議会
登別市教育委員会教育部
社会教育グループ
登別市富士町7丁目33番地
登別市民会館内
☎88-1100 (内)21
発行責任者 戸井 肇

令和5年度「定例総会開催」
6/9 市民会館一階大会議室

六月九日、18時30分より市民会館に於いて定例総会を、安宅登別市教育委員会教育長のご臨席を賜り、戸井会長を含め、各地区連の役員32名の出席により開催しました。

開催に先立ち、登子連で長期間ご活躍されていて、若草地区連から、推薦がありました、4名の方に表彰状の授与式を行いました。

戸井会長、安宅教育長の挨拶に引き続き、富岸地区連南会長の議事進行により、報告事項第1号から3号と、審議事項第1号議案から第4号議案の報告と審議が行われ、いずれの議案も満場一致で可決され無事に終了することが出来ました。



登別市子ども会育成連絡協議会
令和5年度表彰者4名

若草地区連絡協議会所属

受賞者名	活動期間
前田 昭子	24年目
山本 美佐保	24年目
平田 純子	24年目
花野 典子	24年目

敬称略

1976年から44回続いた「こいのぼりマラソン大会」の幕を引く！

1976年の6月20日に、第1回目の「こいのぼりマラソン大会」の開催の目的は、全市民が誰でも参加できるように、市陸上競技場を発着点に、設定した7Kmコースを、競争して走るのでは無く、時間にはこだわらず、登別の風景を楽しみながら、親子・夫婦・恋人・友達・仲間が、走っても、歩いても良く、もちろん休憩も有りで、時間の制限を無くして、ゴールするのを目的とした、登子連組織の子ども会が主催する、初めての大会で、市民に参加してもらい、子ども会の存在を知ってもらうために企画したそうです。

第32回大会



第36回大会



第44回大会



初回大会は、450名の参加者で開催、10回大会は、登子連創立20周年記念行事の一環とし、7Kmのコースをタイムトライアルとし、風景を楽しむ参加者のためには、新たに5Kmのコースを新設して700名の参加者を迎えての開催です。

35回目までの会場を、36回大会では、川上公園に変更して開催し、37回大会からは、実行委主催で開催され、3回から継続した開催日5月5日を、39回大会から変更開催、令和元年、第44回大会を最後に、コロナ禍での中止を挟み、令和5年に長い歴史を閉じました。

鉾山合宿再開

若草地区連

2020年度から、中断していましたが、鉾山での宿泊研修を4年ぶりに、開催しました。

新型コロナウイルス感染症法上の、5類に変更されたのを由として、8月26、27日に4地区から、小学生女子5名、男子1名と保護者1名、役員9名の総勢16名の参加で実施いたしました。

両日とも、最高の天気恵まれ、初日予定の川遊びも、鉾山担当のサポートもあり、子供達ははしゃぎで楽しんでいました。

2日目の、工作と缶茶作りなども、ボランティア参加の役員の、ご協力を頂き無事に終了することが出来ました。



身近にある「キウシト湿原」で大自然を探究

登子連主催・来馬地区連主管
住宅地に隣接・キウシト湿原で

登子連育成者研修会開催

十月二十二日(日)、四年ぶりの登子連育成者研修会が、キウシト湿原で開催され、各地区連より三十八名の育成者が参加。

今回は、来馬地区連担当で、参加者の受付は、ジュニア育成者八名が担当して行いました。

湿原とはどんな場所か、キウシト湿原の重要性や教育の場として、どのように使われているのかを聞いてから湿原を散策し、実際に子ども達が現地で体験している秋の『ふしぎ発見』というプログラムにチャレンジ。

肌寒い日ではありましたが、湿原の宝を観察したり、三メートルある泥炭層のふしぎを体験したり、たくさん野鳥も観察することができ、充実した研修会になったと思います。



第56回 全国子ども会育成中央会議・研究大会 令和5年度 北海道地区子ども会育成研究協議会

10月27(金)京王プラザホテル札幌・28日(土)かでの2・7にて2日間地元開催

全国子ども会連合会主催、北海道子ども会育成連合会の主管で、全国各地から関係者457名が参加して「これからの子ども会～子どもたちと地域の未来に向けて」をテーマに、これからの子ども会活動に於いては、時代の変化に対応し、多岐にわたる地域課題に目を向けて、子ども会が様々な地域活動の先頭に立ち、けん引することが子ども会の役割として求められていることを趣旨とし、1日目は、京王プラザホテルにて開会式に引き続き、全国子ども会連合会より、長年の活動を通して活躍している、子ども会組織等の30団体と、子ども会で育成・指導に当たり、功績を積まれた、70名と北海道子ども会育成連合会より、選出された5名に、表彰状の授与式が行われました。

記念講演は、むかわ町国民健康保険穂別診療所副所長・中塚 尚子氏による、「子どもの心をのぞいてみればー地域医療から見える問題点と対策」の演題で行われ、受賞者記念撮影を挟み、受賞者を囲む会・情報交換会を、実施して1日目が終了。

2日目は、かでの2・7に会場が移され、第1～第9分科会と、分科会別に討議課題が設定され、区分された会場にて分散協議を行い、各分科会で集約された協議の結果を持ち寄り、全体会議会場にて、個別に成果と課題の発表後の質疑応答の中で、参加者同士の意見交換が図られていました。

参加者全員で「時代の変化に対応した活動」の改革と必要性を共有し、「地域の子どもは地域で育てる」活動に立ち返るスタートの2日目でした。

